

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



三重県埋蔵文化財センターの出前授業がありました！

2月13日(木)の3・4限目に、6年生は、三重県埋蔵文化財センターの方による出前授業を受けました。まず、伊勢神宮への参拝者で賑わった伊勢街道沿いで発展してきた「栗真」は、昔この地域に存在した「栗真荘」という荘園の名前が由来であるのではと考えられていることや、約460年前の安土桃山時代には、織田信長の弟の織田信包(津城を造った人物)の家臣である分部光嘉が造った「栗真中山城」が、今の栗真小学校の近くにあったことを教えていただきました。次に、「お七夜」で有名な一身田地区は、高田本山というお寺を中心に発展してきたことや、高田本山専修寺には、三重県内にただ1つしかない国宝建造物があること、この辺りには約550年前の室町時代の遺跡である「専修寺境内遺跡」が見つかったことも教えていただきました。そして、中勢バイパスと津関線とが交わる大里窪田町周辺には、三重県内にある14000か所の遺跡の中でも最も貴重な遺跡の1つである「六大A遺跡」があることを教えていただいたあと、そこから発掘された出土品の説明をしていただきました。最後には、貴重な出土品を手にとって触らせていただきました。子どもたちは、出土品の特徴をじっくりと観察していました。自分たちの身近な地域の話とあって、子どもたちは、興味深そうに歴史を学ぶことができました。



児童会主催「縦割り班対抗ドッジボール大会」で楽しみました！

児童会では、全校みんなで楽しい時間を過ごそうと、「縦割り班対抗ドッジボール大会」を計画しました。縦割り班8チームによるトーナメント戦です。2月10日(月)から17日(月)の20分休みを利用して、試合を進めてきました。天候に左右されない体育館での実施ですが、真冬の寒さは身に沁みます。それでも、試合が進むにつれて、体育館は熱気に包まれ、観戦していても寒さを感じなくなりました。勝負なので、勝ち負けも大切ですが、子どもたちを見ていると、寒い季節に体を動かして、みんなで楽しむことが一番なようです。



第3回「学校運営協議会」を開催しました！

2月14日（金）に、第3回学校運営協議会を開催しました。今年度、最後の学校運営協議会ということで、児童アンケートと保護者アンケートの結果分析について報告をし、委員の皆様からご意見やご質問をいただきました。また、令和7年度の学校経営改革方針（案）を提案し、承認をいただきました。委員の皆様からいただいたご意見等を、ご紹介します。

○1年生児童の授業に取り組む姿が、1学期に授業を見せていただいた時の姿と比べ、とても成長していることに驚きました。

○栗真小学校の児童数がひと昔と比べると、増えてきているように感じました。学級ごとの児童数も、学習するのに最適な人数になってきたと思います。

○1学期に低学年の児童でトラブルがあったことをお伝えし、適切に対応していただいたようですが、学校では、このようなトラブルは、それ以降よくあるのでしょうか。

→ 学校で気づいた時には、適切に対応をしています。しかし、学校外でのトラブルには気づくことが難しいので、そういったトラブルを見かけましたら、学校へ連絡し、教えていただくと助かります。

○給食に関して、アレルギーのある児童に対しては、どのように対応しているのですか。

→ 入学時や転入時に全保護者に対して、児童の食物アレルギーについての調査をしています。食物アレルギーがある場合には、アレルギーの詳細を教えていただき、給食調理校である白塚小学校の栄養教諭と連携を取りながら、給食調理をしていただいています。具体的には、アレルギー食材を含んだ献立の場合は、該当の食材を抜いて調理したものを、専用の器に入れて運んできてもらいます。そして、専用の器は、職員室に運ばれ、該当児童が取りに来て、教室に運ぶことになっています。その際には、職員室の先生、教室の担任が、それぞれ立ち合いのもとにやり取りするなど、厳重に対応しています。

○アンケートの結果として、一部の項目で、学年による差があることが気になりました。

→ 先生方の経験の差などにより、対応に個人差が出てしまった結果だと思えます。担任が気づいた時には、適切に対応していますが、担任が気づくことのできない場合もあります。この場合、養護教諭をはじめ、全教員が情報共有をしながら、適切に対応するように努めていますが、どうしても対応が遅れることもあります。この差が、学年差につながっているものと思われれます。学校では、最も身近にいる担任が早く気づき、迅速に対応できるよう、その都度、共通理解の機会を設けているところです。

○体育館横の外トイレは、防犯上大変危険であるように思いますが、防犯カメラなどは設置されているのでしょうか。

→ 本校を含め、市内の小中学校には、残念ながら、公費による防犯カメラの設置は実現されていません。一部の学校で、外部団体の協力により、設置されているだけです。校長会でも、設置要望を提出しているところですが、設置費用や維持費などの予算が高額になることや、常時監視できる人員が確保できないことなど、実現は難しいとのこと。

学校運営協議会委員の皆様、たくさんのご意見、ありがとうございました。いただいた意見は、今後の学校教育活動に活かしていきたいと思えます。